

祝！同窓生が地区医師会の会長に就任

「船橋市医師会会長就任の挨拶」

医療法人社団 弘成会 コミュニティクリニックみさき 玉元 弘次 (1期生)



琉球大学医学部医学科同窓会ならびに関係各位の皆様、1期生の玉元弘次でございます。私は平成26年5月24日一般社団法人船橋市医師会総会に於いて代表理事（医師会会長）に選出されました。

船橋市は千葉県の東葛南部地区にある中核市です。千葉県では千葉市に次ぐ人口62万人の規模の市です。船橋市医師会は昭和12年に発足した77年の歴史がある医師会です。船橋市医師会は行政と連携し全国に先駆けて年中無休の夜間急病診療所を開設し、さらに船橋市立医療センターの開設後はこれも全国で初めての24時間体制のドクターカーシステムを導入しました。介護保険が開始する前には船橋市医師会独自の在宅医療の仕組みを考案されています。偶然にも最近の「地域包括ケアシステム」によく似た仕組みでした。

このような先進的な医師会の会長を拝命されたことは誇りでもありますが重責につぶされるのではないかとの不安もあります。私は沖縄県宮古島出身です。10歳で東京に転居し都立三田高等学校を卒業しました。昭和62年琉大卒業後には東京に戻り東京民医連で研修しました。平成2年千葉県松戸市の千葉西病院（現在の千葉西総合病院）の立ち上げ直後に徳洲会グループの勧誘を受け同病院で整形外科医として勤務しました。その後徳田虎雄理事長の直接の依頼で船橋市にある千葉徳洲会病院に医長として移動しました。このことが船橋市に移り住むきっかけとなりました。若い頃の私は上司に平気で意見するところがあり、当時の千葉徳洲会病院院長「村田恒有（日本赤軍最高幹部の重信房子被告をかくまったとして犯人蔵匿と隠避の罪に問われた医師）」とそりが合わず結局開業することになりました。このような経歴の

私を船橋市医師会の諸先輩方は快く受け入れていただきました。整形外科医会や医師会ゴルフ同好会などの活動を通して会員と交流を深めていきました。

私の開業した場所は船橋市でも中心から離れた場所にあるため医師会の役員などとは無縁だと思っていましたところ、平成18年の医師会選挙で改革派の執行部が誕生したため反対派の理事が多数降りてしまい、当時の会長の要請で平成20年に医師会理事に就任しました。私は開業医ではありませんが平成11年に介護老人保健施設を開設し、介護保険関連の知識があったため医師会では介護保険担当となりました。平成22年には副会長となり4年間行政の仕事で各委員会の委員長などを経験しました。副会長2期目の平成24年以後には行政の幹部クラスは、相談事などは会長ではなくなぜだか副会長の私とするようになっていました。田舎の琉大出身のため威張ることが出来ない性分が幸いしたようです。今回の医師会選挙は現職の会長と副会長の争いになってしまいました。本来は話し合いで済ませることが良いことだと思いますので会員の先生方には申し訳なく思っています。選挙は組織が分断されかねません。今後はひとつの群れとしての船橋市医師会を再構築しその名に恥じない努力を続ける所存です。

これからの琉大医学部医学科同窓会のますますの発展を期待しております。今後も同窓会の先生方と交流し、顔の見える関係作りを築きあげていきたいと考えております。よろしく願い申し上げます。

